

#### 第44回北海道少年少女空手道錬成大会要項

- 1 主 催 北海道空手道連盟
- 2 後 援 (公財) 全日本空手道連盟 北海道 北海道教育委員会 (公財) 北海道スポーツ協会  
札幌市 札幌市教育委員会 (一財) 札幌市スポーツ協会 各報道機関
- 3 主 管 (公財) 全日本空手道連盟北海道地区協議会 札幌地区空手道連盟
- 4 期 日 令和6年5月18日(土)【全学年形試合・1～2年男女組手】  
令和6年5月19日(日)【3～6年男女組手】
- 5 会 場 北ガスアリーナ札幌46  
札幌市中央区北4条東6丁目 011-251-1815
- 6 競技種目 小学1～6年生の男子・女子の形競技及び組手競技個人戦  
(形競技と組手競技の両種目に出場できますが、全国大会については、1種目しか出場できません。)
- 7 競技規定並びに全日本少年少女空手道選手権大会出場権について
  - ① (公財) 全日本空手道連盟 (以下、「全空連」と略す) 競技規定及び北海道空手道連盟 (以下、「道空連」と略す) 少年少女空手道錬成大会競技規定及び申し合わせ事項による。
  - ②形競技個人戦
    - ア 本大会は形審判員による、形の得点制システムを採用いたします。
    - イ 参加人数により、グループ数を決定します。
    - ウ 一人ずつ演武します。
    - エ 原則、各グループの上位4人が次のラウンドに進出できます。
    - オ 予選プール(準決勝の前のプールまで)は基本形であるゲキサイ第1・第2、平安又はピンアン初段～5段の中から選択し、同じ形を繰り返し演武してよい。
    - カ 準決勝は全空連第1指定形・第2指定形及びそれまで演武していない基本形とする。
    - キ 準決勝の各グループの上位3名は、順位決定戦に進出できる。準決勝の各グループの4位の選手については7位(敢闘賞)とする。順位決定の演武形は準決勝までに使用していない基本形または全空連第1指定形、第2指定形とする。
    - ク 形競技において、全空連競技規定通りとする。
    - ケ 次のラウンドに進出する上並びに順位を決定する上で同点の場合は下記のとおりとする。
      - (1)有効点のうち、最低点が最も高い者
      - (2)有効点のうち、最高点が最も高い者
      - (3)再試合(それまでに使用した形を使用することができ、再試合で使用した形は次のラウンドでも使用することができる)
  - ③組手競技個人戦
    - ア トーナメント方式で行う。また、敗者復活戦は実施いたしません。
    - イ 競技時間は1分30秒とする。
    - ウ 勝敗は競技時間内に6ポイント差が生じた場合、あるいは反則・棄権・失格、又は競技終了時に得点の多い選手を勝ちとする。同点の場合は、新競技規定通りとする。
    - エ 本大会は新競技規定で開催するが、組手競技において旧ルールブックP68下段に記載の組手試合(12歳未満)の以下の部分を適用する。
      - ・全ての得点部位(上段及び中段)への技は、部位までの距離が近くコントロールされたものでなければならない。
      - ・上段へのコンタクトは、軽微であっても原則的にウォーニング(ペナルティ)が科せられる。
      - ・10cmまでの得点部位への正確な技は、原則的に得点とみなされる。
      - ・中段への技がコントロールされたものであっても、表面以上にコンタクトがあった場合は、

得点にならない。

- ・足払い、又はその他投げ技は禁止する。

オ 安全具について

- ・組手全種目に全空連検定品の防具を使用すること。拳サポーター（赤・青、リバーシブル可）、メンホー（V～VII）（マススシールド任意）、ボディプロテクター及びシンガード・インステップガードを装着すること。（なお、シンガード・インステップガードについては、白、赤・青でも可）また安全具は各自が用意すること。3～6年の男子選手については、ファールカップを必ず装着すること。なお、1～2年の男子選手については指導者（監督）の判断に委ねる。
- ・安全具の装着のない選手は出場できないこともあるので、注意すること。

④服装について

ア 選手は競技規定にそった清潔な白の空手衣を着用すること。

- ・空手衣の胸ひもは不可。腰ひもは必ず結ぶこと。
- ・空手衣の袖や裾を折っての使用は禁止とする。万が一、袖や裾を折らなければならない場合は、内側に折って、縫い付けること。
- ・女子は、空手衣の下に白無地のTシャツを着用してもよい。
- ・ヘアクリップ、金属製のヘアピン使用は禁止する。
- ・帯は赤・青（全空連検定品）を使用すること。流派名、道場名の記載は不可とする。
- ・帯留めのゴムやマジックバンド等は使用禁止。
- ・形演武の際の帯の色は、別紙フローチャートの通りとする。

イ 監督・コーチは白の空手衣又は全空連指定ジャージを着用すること。

（監督が空手衣下にTシャツを着る場合は、白とする。）

監督・コーチは、審判員講習会受講者又は監督・コーチID講習会受講者（IDカード必携）に限り、選手1人に対し監督1名つくことができる。

⑤全日本少年少女空手道選手権大会（以下、「全少」と略す）出場権利について

今年度の全少出場枠につきましては、各都道府県、各種目2名までとなっております。各種目優勝者並びに準優勝者が何らかの理由により出場できない場合は、組手競技における繰り上げ出場権決定戦（3位同士による決定戦）を実施する場合もある。

ただし、下記の昨年度全少3位以上の選手に今年度、シード扱いとして全少出場権が与えられた場合と、与えられない場合の対応は、下記の通りといたします。

全少出場権が与えられた場合は、組手トーナメント、形グループには入れず、各種目優勝者とのスーパーチャンピオン決定戦を実施する。

全少出場権が与えられなかった場合は、組手トーナメント、形グループに入れる。

《前年度全少3位以上入賞者（学年は現在学年）》

～本大会では、スーパーシード選手と称する～

2年男子組手	山下 るい翔	2年女子形	三土 乃空
3年女子組手	土岐 果瑛	3年女子形	齊藤 羽奏
4年女子組手	土岐 穂佳	4年女子形	辻 麻陽

8 審判員 北海道空手道連盟公認審判員

9 参加資格 北海道空手道連盟加盟団体に所属し、かつ道空連、全空連に個人登録をしている者。全空連の公認段位もしくは公認級を保有していること。なお、既に申請している者で免状が届いていない者は「申請中」とする。事後登録は許可しません。

- 10 参加費用 1種目参加の場合 5,000円(参加料+ゼッケン代)  
2種目参加の場合 6,000円(参加料)  
※ゼッケン2枚必要の場合は、7,000円
- 11 表彰 形・・・優勝1名、準優勝1名、3位1名、4位1名、5位2名、敢闘賞(7位の選手)2名  
組手・・・優勝1名、準優勝1名、3位2名、5位4名  
また、スーパーチャンピオン決定戦の結果においても表彰いたします。
- 12 申込 申込期間 **令和6年4月18日(木)～22日(月)** この期間以外は受け付けません。  
期間内に「道空連選手登録システム」より大会エントリーを行ってください。  
(監督・コーチも道空連、全空連登録をしていないとエントリーができません)
- 13 振込 **4月22(月)～4月26日(金)**

銀行名	北洋銀行 豊平支店
口座番号	普通1316198
口座名	<small>ほっかいどうからてどうれんめい</small> 北海道空手道連盟

- 14 組合せ 5月8日(水)の午前中にコンピュータによる抽選を行い、北海道空手道連盟のHPに掲載いたします。

15 その他

- (1) 締切後の選手の変更は認めない。
- (2) 申し込み終了後、参加者名簿をホームページ上にアップいたしますので、間違いがないか確認し、間違いがあった場合は至急(4月26日までに)北海道空手道連盟事務局に連絡してください。
- (3) けがの対応につきましては、応急処置等は行いますが、各自の責任のもと、その後の対応をしてください。
- (4) 選手は左胸に競技団体名(ネームタテ15cm×ヨコ10cm以内)をつけること。
- (5) ゼッケンは競技団体ごとに事前に配布いたします。背中にしっかりと縫い付け、試合中にはずれることがないようにしてください。
- (6) この大会は、第24回全日本少年少女空手道選手権大会(全少)の北海道予選会となります。
- (7) 全少の出場権利は、形・組手のどちらか1種目しか出場できないため、重複して出場権を取得した選手はどちらかを選択し、どちらかを辞退していただきます。
- (8) 練習会場での占領は禁止します。譲り合って使用してください。
- (9) 下足のまま会場に入ることにはできないので上履きを用意ください。下足用袋は各自で準備し(道空連では用意いたしません)管理するようお願いします。(入り口付近に放置された履物はすぐに処分されるので注意)また、選手は裸足のまま屋外に出ることがないようにしてください。